

2021年度事業報告

2021年度の社員総会で議決されました事業計画の実施結果を下記の通り報告いたします。

I. 総括

IGSAPは、2016年7月に設立以来、国際フォーラムの開催、2020年発行のIEC白書“Safety in the Future”への参画など国際的な活動より関連団体と関係構築してきたが、昨年度はGlobal Coalition for Safety and Health at Workの活動に、国連専門機関のILOやISSA、IOSH、FIOH、IOHAといった世界有数の安全関連機関と共にIGSAPが参画し、第2回Vision Zero Summitを2022年5月に日本での開催決定など、国内外において認知度の向上とともに国内外の安全関連団体、機関との関係を構築してきている。

また、IGSAPが2017年に発表した「未来安全構想」において、安全な未来社会の実現には、人、技術、そしてそれを取り巻く仕組み、マネジメントの全体での取り組みが重要であると提唱してきたなか、昨年度は業種、業界を超えて「未来安全構想」の具現化とともに、「働く人のWell-being」の実現のため、組織運営体制の強化を図るために委員会、研究会などの運営体制を強化し、IGSAPの魅力度を高めた。上記の活動により、IGSAPの認知度が向上し、正会員4社、賛助会員1社に入会頂いた。

II. 事業推進

要員資格認証及び適合審査登録などの「認証スキーム」の構築、制度運用の拡大及び「企業安全化推進」を展開するための仕組みや組織化を積極的に推進する。

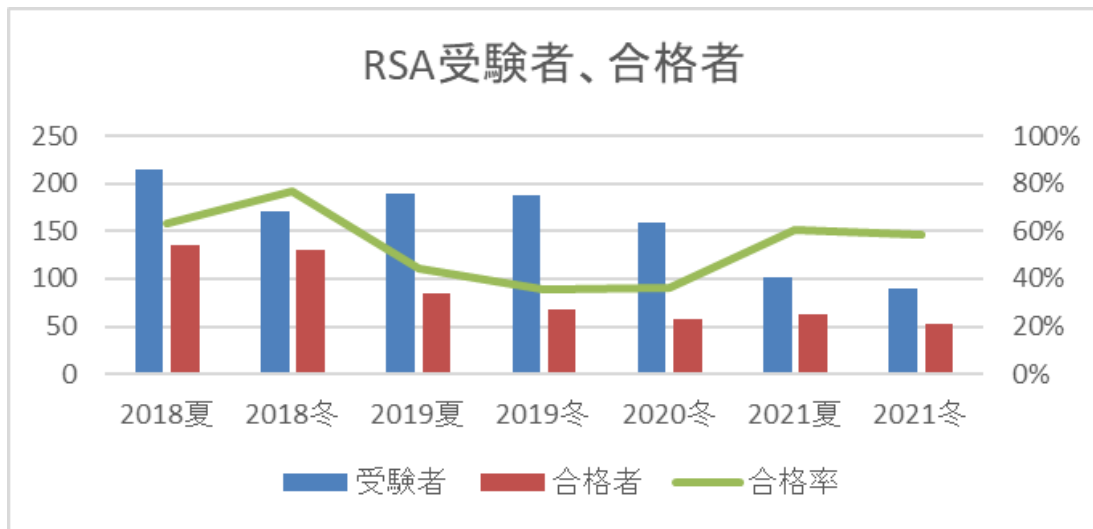
1. 認証スキーム関連

1) ロボットセーフティアセッサ資格制度

2020年度に検討していたISO/IEC 17024(適合性評価-要員の認証を実施する機関に対する一般要求事項)に準拠する体制、規程の準備が完了したので、2021年度よりスキームオーナーはIGSAP、認証機関は日本認証という役割と責務を明確にした体制の整備するとともに体制、運用に関する規程に基づいた要員認証制度の運用を開始した。

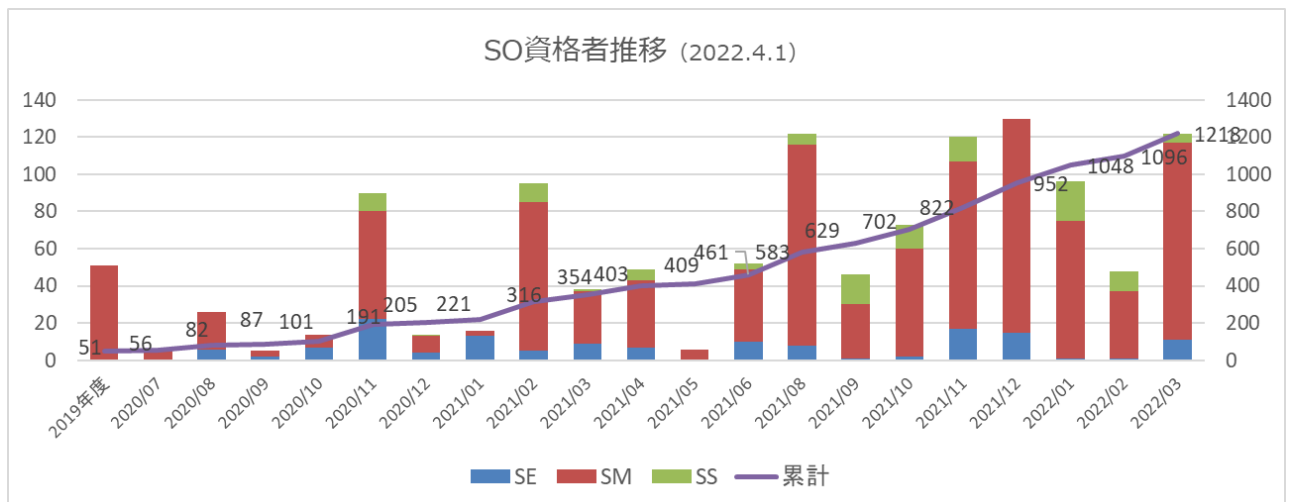
2021年度ロボットセーフティアセッサの受験者数は400名を目標としたがコロナ禍による影響もあり219(欠席者32)名と低調に終わった。

課題であった合格率の低下については、力量基準の規程化による資格取得要件の明確化と、セーフティアセッサを保有していない受験者に対しては、セーフティサブアセッサからロボットセーフティアセッサへの段階的な受験を推奨することにより、受験者は準備して試験に臨んで頂けるようになったこともあり、合格率は下記のように改善してきている。



2) セーフティオフィサ資格認証制度

2021年度のセーフティオフィサ資格の受験者は1,000名を目標としたのに対し、945名との結果に終わった。各資格の合格者数はセーフティエグゼクティブ73名、セーフティマネージャー697名、セーフティスタッフ94名の合計864名になり、資格者累計は1218名に達している。本資格は、オンラインでの受験が可能であること、また企業や経営者の安全意識の浸透を背景に資格取得者は大幅に増加した。またSA協議会内のSO部会設立については、理事会、SA協議会において部会長の承認頂き、2022年度に第一回総会開催を目指して、準備を進めている。



3) Safety2.0 適合審査登録制度

人とモノ、及びこれを取巻く環境において、ICT を活用した協調安全 (Safety 2.0) を実現した、製品、システムさらにはプロセス、サービスを対象とした Safety2.0 適合審査登録制度を 2018年2月から開始し、2019年度は6件、2020年度は3件を審査登録した。2021年度は6件の適合審査登録を目標対し、2件のSafety2.0適合審査を行い登録した。

適合登録番号	適合基準レベル	登録事業者	適合スコープ	適合登録日
S221113011L1	1	ニシオティーアンドエム株式会社	建設現場内の人検知・監視及び警報信号発信カメラ式人検知システム	2021/11/30
S221123012L1	1	IDEC 株式会社	人・ロボット協働アプリケーションにおいて IDEC 製静電容量式センサ (ANSHIN Senso) を使用したロボットシステム	2021/12/7

2. Vision Zero Summit 2022 日本開催準備

Vision Zero Summit 2022 Japanは、「ニューノーマルにおける安全・健康そしてウェルビーイング」をテーマに、2022年5月11～13日に開催（オンライン視聴とともに終了後1か月間はオンデマンドで視聴可能）に向けて、組織委員会が中心となって、本サミットの開会セレモニー、セッション、オンライン展示会、東京宣言、白書などの様々な企画検討、事前準備を一年間通して実施してきた。

また、多くのIGSAP会員企業や関連団体が本サミットに共催、後援、協賛、講演などご支援、協力いただいている。

3. 安全経営フォーラム

2021年6月にはIGSAP主催ZoomウェビナーにてVision Zero & Safety・Health・Well-beingフォーラムを開催し「世界の新潮流はウェルビーイングに、実現の近道はVision Zeroの推進」をテーマに、モデレータ藤田理事を含む4名による Round Table Talkを実施した。また11月には日本規格協会古野 毅様より「ISO 45003の概要 ～心理社会的リスクを管理するためのガイドライン～」について講演頂いた。このような活動により、Well-beingの推進など、経営層に安全についての関心を高めるとともに会員への情報提供や交流の場を提供し、活性化を図れた。

4. 向殿安全賞

2022年1月28日に東京ビッグサイトにて開催されたIIFESにて表彰式を実施した。

受賞企業及び受賞者	分類	受賞賞
本田技研工業株式会社	団体	功績賞
旭化成株式会社	団体	功績賞
株式会社藤興業	団体	功績賞
株式会社日本製鋼所	団体	功績賞
Mr. Manfred Schoch	個人	功労賞
Mr. Steven Margis	個人	功労賞
河合 満	個人	功労賞
Mr. Elik Fooks	個人	功労賞

5. 広報活動の推進

弊会役員、委員により以下において主な講演を実施した。

開催日	講演者	広報内容	主催者
2021/5/28	梶屋俊幸理事	IEC 活動推進会議 総会で「IEC 適合性評価制度への取組み “Lord Kelvin 賞受賞に至る実績紹介と将来展望”」講演	IEC APC 総会
2021/6/25	向殿政男会長 藤田俊弘理事	Vision Zero & Safety・Health・Well-being フォーラム開催	IGSAP
2021/7/6 ～7/7	向殿政男会長他理事、委員など 11 名	“SIAS2021” International Conference on Safety of Industrial Automated Systems	NECA、IGSAP 他 9 団体
2021/7/14	藤田俊弘理事 河田孝志理事	“ORP Congress 2021” 「VISION ZERO AND THE GREAT RESET FOR AMERICAS」にて「協調安全技術によるウェルビーイング向上」について講演	ORP INTERNATIONAL FOUNDATION
2021/9/19	藤田俊弘理事	XXII World Congress on Safety and Health at Work (カナダ開催) にてセーフティアセッサ資格制度などの国際標準化の重要性について講演。同大会に連動して VZSJ2022 概要紹介	ISSA, ILO, IWH, CCOHS
2021/10/6	藤田俊弘理事 梶屋俊幸理事	IEC MSB Conference “Safety in the Future” IEC 白書講演	IEC
2022/1/28	向殿政男会長 松浦裕士事務局長	第 7 回向殿安全賞 受賞記念講演	IGSAP

Ⅲ. 重点施策

1. IGSAP の魅力度の向上 (委員会組織、協議会組織について)

組織体制の強化を目的として、セーフティエグゼクティブ委員会をエグゼクティブ委員会に名称を変更するとともに、重要テーマ別に外部交流部会、Well-being(行動分析)& PLI部会、ホリスティックアプローチ推進部会、情報発信&出版企画部会の4部会を新たに設立して、安全、安心、ウェルビーイングを取り入れた活動を開始した。

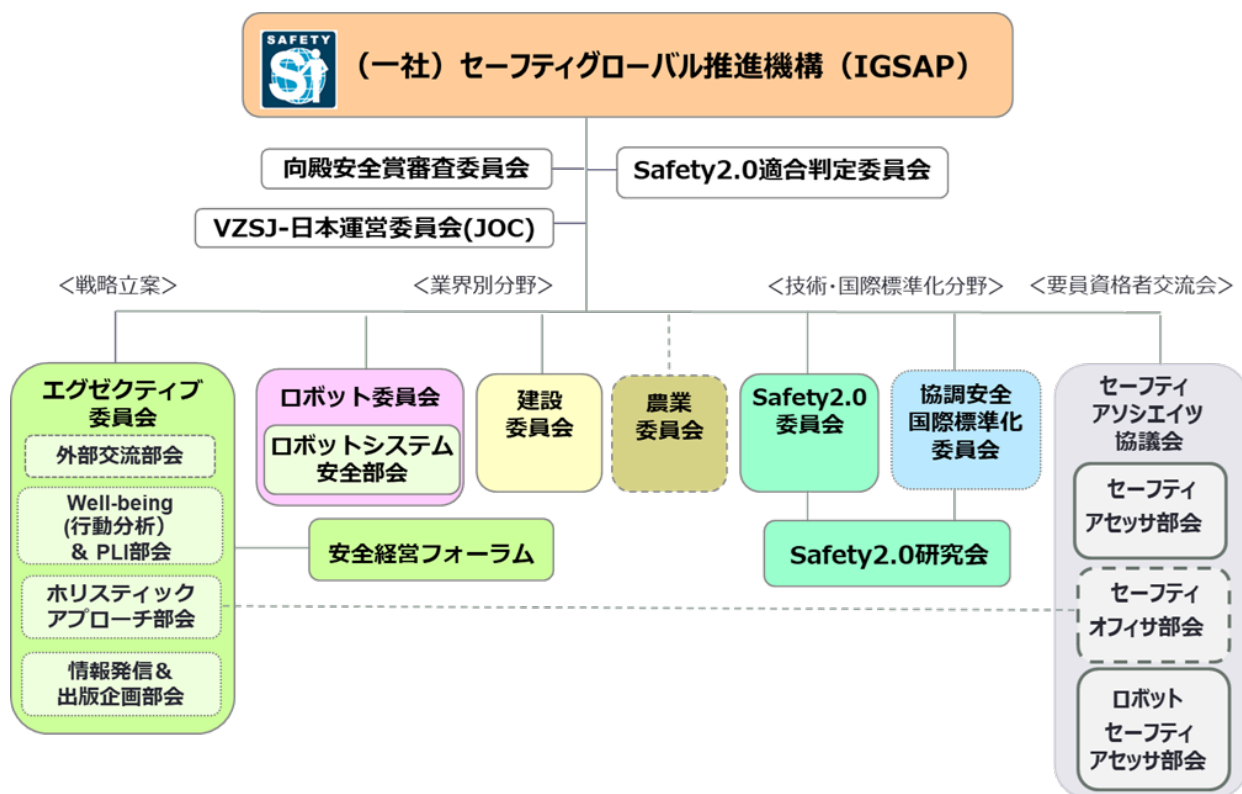
また、2021年9月9日から12日に開催されたWorld Robot Summit 2020 愛知大会(経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構主催)の「ものづくりカテゴリー」にロボットシステム安全部会から安全監視団を派遣するとともに、競技参加者へのリスクアセスメント、安全方策などの講習会を実施したことにより、競技会における事故防止とともに、競技参加者への安全に対する啓蒙活動に貢献した。

委員会の開催はコロナ禍のなかであるが年間スケジュールに従い、オンライン会議を中心として開催した結果、出席者の増加などオンライン会議の利便性はあるが、会員間のコミュニケーションや会員間の議論等が検討課題となっている。

昨年度、SA 協議会（セーフティアソシエイツ）内に新設したロボットセーフティアセッサ部会が本格的に活動し、ロボットセーフティアセッサ資格の社会的認知度の向上と資格者の地位の向上、技術力の向上を目指して活動した。

2. 事業ドメインの拡大検討

IGSAPが2017年6月に発表した「未来安全構想」では、安全な未来社会の実現には、人、技術、そしてそれを取り巻く仕組み、マネジメントの各要素での取り組みが重要であることを提唱してきた。安全、安心が共通の社会的価値として認識されつつある情勢を踏まえ、業種、業界を超えて「未来安全構想」の具現化とともに「働く人のWell-beingの実現」の観点を取り入れた活動を、エグゼクティブ委員会中心に強化し、国内外での講演をはじめ外部訴求を展開し幅広い層に浸透を図った。



図：IGSAP の組織図 (2021年度)

カテゴリー	ビジョン/仕組み	業界/要員認証/人材育成		技術	標準化	要員認証
委員会	エグゼクティブ委員会 委員長：藤田俊弘	ロボット委員会 委員長：小平紀生	建設委員会 委員長：河田孝志	Safety2.0 委員会 委員長：山田陽滋	協調安全国際 標準化委員会 委員長：向殿政男	セーフティ アソシエイツ協議会 会長：向殿政男
部会	外部交流部会 部会長：藤田俊弘 Well-being&PLI 部会 部会長：北條理恵子 ホリスティックアプロー チ部会 部会長：梶屋俊幸 情報発信&出版企画部会 部会長：荻原博之	ロボットシステム 安全部会 主査：野田哲男		Safety2.0 適合制 度部会 主査：梶屋俊幸		セーフティアセッサ 部会 部会長：大賀公二 ロボットセーフティ アセッサ部会 部会長：園子憲司 セーフティオフィサ 部会 部会長：高木智弘
フォーラム /研究会	安全経営フォーラム 会長：藤田俊弘			Safety2.0 研究会 主査：山田陽滋		

表：各組織長（2021年度）

3. 法人会員の拡大

2021年度の計画では、今年度、正会員で6社、賛助会員で3社の目標に対して、正会員として日立建機株式会社、株式会社ダイフク、株式会社大林組、富士電機株式会社の4社、賛助会員では坂川建設株式会社の1社の入会結果であった。今後も引き続き会員の入会を促進していく。

	2022年 3月31日時点	入会	退会	増減	2021年 3月31日時点
正会員	22	4		4	18
賛助会員	6	1	1	0	6

表：会員の入退会

4. 定時社員総会・理事会の活動報告

1. 定時社員総会

2021年6月25日に定時社員総会を開催し、以下の議案が原案どおりに可決された。

(議案)

- 第1号議案 2020年度事業報告の件
- 第2号議案 2020年度決算報告、監査報告の件
- 第3号議案 2021年度基本方針及び事業計画の件
- 第4号議案 2021年度予算の件
- 第5号議案 新役員（理事、監事）の件
- 第6号議案 特別会計の件
- 第7号議案 非常勤役員（理事、監事）の報酬規程

2. 理事会

2021年4月より2022年3月までの間に理事会を5回開催し、下記の事項についてそれぞれの決議を行った。

(1) 第1回理事会（2021年5月14日）

(議決事項)

- 第1号議案：会員入会 承認の件
- 第2号議案：2020年度事業報告 承認の件
- 第3号議案：2021年度社員総会について
- 第4号議案：2020年度の決算報告及び収支報告

(報告事項)

- 1. 理事、監事について
- 2. PL学会協賛の件
- 3. 令和3年緑十字賞の推薦について
- 4. Vision Zero Summit Japan 2022について

(2) 第2回理事会（2021年6月25日）

(報告事項)

- 1. 新理事、新監事の自己紹介
- 2. セーフティオフィサの商標登録の件
- 3. 第1回SA協議会の報告

(3) 第3回理事会（2021年9月17日）

(議決事項)

- 第1号議案：株式会社大林組入会 承認の件
- 第2号議案：S0部会設置ならびに部会長の選任、S0部会規定 承認の件
- 第3号議案：IGSAP名の名刺の使用について

(報告事項)

- 1. ロボット委員会本年度計画の進捗状況について
- 2. VISION ZERO SUMMIT 2022 日本開催準備状況について

(4) 第4回理事会（2021年12月17日）

(議決事項)

第1号議案：富士電機株式会社および坂川建設株式会社入会 承認の件
(報告事項)

1. 令和3年度安全衛生教育促進運動の実施に伴う「協賛」について
2. 本年度の実施計画の報告と来期計画の作成について
3. 2021年度 予算収支見込み
4. Safety Executiveの商標取得について
5. Vision Zero Summit Japan 2022 について
6. 「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナーへの参画に関する件

(5) 第5回理事会 (2022年3月14日)

(議決事項)

第1号議案：2022年度事業計画案 承認の件

第2号議案：2022年度予算案 承認の件

第3号議案：非常勤役員の来年度契約と業務委託費の改定について

(報告事項)

1. IGSAPメルマガ発行について
2. 大林道路株式会社退会について

◇2021年度総会、理事会、委員会、部会、研究会の開催実施日一覧

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社員総会			6/25									
理事会		5/14	6/25			9/17			12/17			3/14
建設委員会		5/19		7/13				11/5			2/3	
ロボット委員会		5/10			8/26			11/8		1/20		
ロボットシステム安全部会	4/7				8/5							
Safety2.0委員会		5/17						11/11				3/7
Safety2.0研究会				7/12				11/11				
エグゼクティブ委員会	4/20				8/18					1/24		
安全経営フォーラム			6/25					11/15				

以上